

「教えることは学ぶこと」

—医学生の地域医療実習受け入れについて—

笠間市立病院長 石塚恒夫

笠間市立病院では、今年度から筑波大学医学部学生の地域医療実習を受け入れました。7月に1年生が1人1日ずつ地域医療ふれあい実習、9月～4月には5年生が1週間ずつ診療参加型臨床実習で来ています。実習の受け入れに伴い筑波大学の総合診療科の指導医が週2回派遣され、学生指導のみならず実習のない期間の外来診療にも従事していただいています。地域医療に理解のある熱心な先生方で、医師不足の当院としても大変助かっています（今年は常勤医師の産休があり、この助けがなかったら乗り切ることができませんでした）。

当院での5年生実習は、診療所・小規模病院実習の中に位置づけられています。医療を提供する「場」によって患者層・求められる役割・提供する医療サービスが異なることを、理解してもらうことが一番の目標です。外来・入院のみならず訪問診療にも参加し、今年4月から当院で始まった平日夜間外来もみてもらっています。看護師や薬剤師・管理栄養士の業務も体験してもらい、とまべ訪問看護ス

テーションさんにも協力していただき訪問看護の現場にも触れてもらいます。患者さんの非日常を診る大病院の医療とは異なる、日常生活に寄り添う継続的・包括的医療のあり方や、さまざまな職種によるチーム医療のあり方を分かちてもらえるよう努力しています。学生さんは、さまざまな症状の患者さんが来るのに驚き、看護師の大変さを知り、訪問診療で垣間見る患者さんの日常生活や家族との関係性について新鮮さを感じているようです。

もちろん多くの学生さんは専門医の道を進むことになるでしょうが、当院のような総合医による診療も必要なことを理解してもらえれば良いのです。またそのように努力すること自体が、当院の役割を充実させることになります。地域医療を目指す医師が増えることも少し期待して、この取り組みを続けて行きます。学生さんに診察させていただくことをお願いするかもしれないですが、「地域で医者を育てる」という視点で温かく了承していただければ有難いです。

笠間のがんばる企業紹介⑳

市内で活躍する企業を支援するために結成された「笠間市がんばる企業応援連絡会」。このコーナーでは、連絡会に加入している企業の皆さんを紹介しします。

㈱東洋ヒーター技術製作所茨城工場

今回紹介するのは、東京都目黒区に本社を置く㈱東洋ヒーター技術製作所です。柏井地区の茨城工場で、滝本哲也工場長にお話を伺いました。

「こちらの工場では、どのようなものを作っているのですか？」

「業務用電

気式ヒーター、

熱交換器、温

度調節装置、

ボイラなど、

熱に関係する

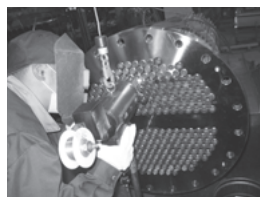
ものでしたら、

あらゆるものを製作しています。業務用電気式ヒーターは、油、水、蒸気、空気等さまざまなものを電気加熱するものです。陸上で使うものもありますし、船舶用もあります。船舶用では国内規格のNK、JGをはじめ、外国船級規格のアメリカ、イギリス、ノルウェーなど各国の検査に合格した完成品を提供しています。（写真①）

「熱交換器は、石油精製、石油化学工業をはじめその他一般化学工業において広く使われており、用途も冷却、凝縮、加熱、蒸発および廃熱回収と広く使用さ



①電気式ヒーター



②溶接中の熱交換器

れているものです。（写真②）

「温度調節装置は、主に各種金型や、圧延ロールの温度を一定に保つ機械です。一例を挙げますと、ビニールやゴム等の製造において、原材料を熱した金型やロールに通して製品を作り出します。金型およびロール本体の温度が均一でないと良い製品ができません。この金型、ロールの温度を調節するのが、温度調節装置です。当社の製品は300℃の高温下でも誤差わずか±0.5℃以内で温度を調節できます。（写真③）」



③温度調節装置

「すごい精度ですね！」

「当社の製品の多くは、お客様の要望に合わせて一から設計するオーダーメイド品です。苦勞もありますが、お客様とのキャッチボールが多いほど信頼関係は深まり、満足度が高い製品ができます。厳しい経済状況が続くなか、コストや省エネルギーの面でお客様のニーズをいかに満足させるかを目標に、日夜格闘しているところです。」

「㈱東洋ヒーター技術製作所茨城工場」

従業員数…25人

※文責▽笠間市役所企業誘致推進室（内線228）